

令和8年度県民総合体育大会兼  
第13回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会  
茨城県予選会

ラグビーフットボール

## 大 会 役 員

会 長	大井川 和彦					
副 会 長	柳橋 常喜	関 正樹	岡田 裕昭			
顧 問	中村 昌平	原 浩道	安藤 真理子	設楽 詠美子	秋山 哲男	
	大和田 健	坂田 寛	下路 健次郎	中島 成雄	根本 聡	
	綿引 憲男	田山 東湖	福田 太公	会田 真一	葉梨 康弘	
	下妻 利之	小林 博史	葉梨 衛	黒沢 豊	白田 信夫	
	加藤 明良	清水 定明	和田 照男	幡谷 定俊	大峰 芳樹	
	遮那 誠一	水田 重則	西内 博	中川 喜久治	西條 昌良	
	萩野谷 豊光	岡田 広	井上 忍	吉澤 忠	藤原 孝幸	
	根本 太涛	伊沢 勝徳				
委 員 長	藤田 知巳					
副 委 員 長	幸田 和洋	橋本 導男	橋本 晃輝	鎮目 英俊		
委 員	菊池 和博	根本 政世士	高橋 勤司	岩間 信雄	鈴木 一美	
	鈴木 純一	白戸 元文	中川 繁昭	永藤 理	諏訪 正美	
	松枝 弘幸	中村 宏	海老澤 正道	川島 正敏	滝川 一徳	
	折本 裕樹	額賀 富雄	野口 文男	宮下 護	廣澤 努	
	野澤 一実	鬼澤 真寿	大芦 昌治	高橋 義道	木内 広史	
	小出 則行	鴨志田 勝次	倉持 利夫	柴田 淳	長谷川 貴典	
	高橋 昇	鈴木 健介	綿引 啓一	横山 良子	鈴木 貴之	
	熊澤 善信	槌田 浩幸	久保 正幸	長谷川 一	鈴木 但義	
	横山 喜之	小林 克行	滑川 理	石川 円	相田 良裕	
	永盛 圭一	花積 秀樹	直江 良雄	宮崎 健太	堀 昭則	
	中口 直仁	柳田 剛志	大久保 真弓	茂呂 允文	柳瀬 武史	
	喜田 聡	小澤 伸介	埴 秀斗	藤沼 優人	青木 大地	
	佐藤 稔					

(順不同敬称略)

令和 8 年度県民総合体育大会兼  
第 13 回全国高等学校 7 人制ラグビーフットボール大会茨城県予選会 実施要項

- 1 主 催 (公財)茨城県スポーツ協会
- 2 共 催 茨城県高等学校体育連盟
- 3 主 管 茨城県高等学校体育連盟ラグビーフットボール専門部  
茨城県ラグビーフットボール協会
- 4 目 的 (1) オリンピックに向けた 7 人制ラグビーの強化・普及を目指す  
(2) 7 人制ラグビーの優秀選手を発掘する機会を設けてセブンズの強化に寄与する。  
(3) ラグビー競技への単独チームでの出場数を増やす。
- 5 期 日 令和 8 年 6 月 13 日(土)・14 日(日)
- 5 会 場 水戸市立サッカー・ラグビー場
- 6 競技規則 (公財)日本ラグビーフットボール協会制定の令和 7 年度競技規則による。
- 7 競技方法 (1) トーナメント戦により実施する。  
(2) 試合時間は 7 分ハーフとし、ハーフタイム 2 分以内とする。  
(3) ハーフタイムはサイドチェンジとし、ベンチに戻らない。  
(4) 得点が同点の場合は、下記の基準と順序によって順位を決定する。  
ア 前後半終了時点で同点の場合は、トライ数の多いチームを上位とする。  
イ トライ数が同じ場合には、ペナルティートライ(P・T)の多いチームを上位とする。  
ウ ペナルティートライ(P・T)も同じ場合は、抽選により上位チームを決定する。  
(5) 決勝戦が点数・トライ数ともに同数の場合は両校優勝とするが、5 分間の延長戦を行い、スコアにより勝敗を決し、全国大会への出場権を得る。延長で勝敗が決さない場合は、抽選の上、決定する。  
(6) 雷等の場合は、日本ラグビーフットボール協会競技規則に則る。  
(7) シンビンは、2 分間とする。  
(8) トーナメントの組み合わせは、5 月 22 日(金)に行う。
- 8 参加チームおよび参加選手の資格
  - (1) 参加チームは学校教育法に定める高等学校に所属するチームで、茨城県高等学校体育連盟並びに茨城県ラグビーフットボール協会に加盟していること。  
全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
  - (2) 茨城県ラグビーフットボール協会に加盟している高校生のクラブチームも参加できるものとする。
  - (3) 1 チームの登録選手は 7 名～15 名とする。ただし 1 試合のエントリーは 12 名までとする。試合毎に 12 名を変更することはできる。大会規定上、10 名に満たないチームは全国大会に進出できない。
  - (4) 参加選手の資格は校長が学業、身体、人物など適当と認めたもので、次の諸項に該

当する者であること。

ア (公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録をしている者。

イ 年齢は平成19年(2007)年4月2日以降から平成23年(2011)年4月1日までに生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

ウ 転校後6ヶ月未満のもの参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、茨城県高等学校体育連盟会長の認可が必要である。

(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

(6) 部活動にひたむきに取り組んでいる生徒を救済するための教育的配慮に基づき部員不足による複数校合同チームによる大会参加を認める。大会規定上、部員不足による複数校合同チームは全国大会に進出できない。

(7) 留学生・外国人選手の出場について

ア 留学生は、卒業を目的とした留学生に限る。

イ 登録については、選手登録が10名~12名の場合は2名まで、13名~15名の場合は3名までとする。試合ごとのエントリーは2名までとする。

ウ 出場できる人数は1名とする。

(8) (公財)日本ラグビーフットボール協会の「日本協会 選手・役員規定」に違反する者は参加できない。

(9) その他、参加資格に疑義がある場合は大会事務局(規律委員会)で裁定する。

(10) 参加資格の特例

ア 上記(1)に定めるチームの生徒以外で、(2)~(7)の大会資格を満たし、かつ本県高等学校体育連盟が推薦する生徒を別途定める規定に従い、大会参加を認める。

イ 上記(5)イの但し書きについては、各学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。

- 9 罰 則 (1) 資格を偽った者、参加資格のない者が参加した場合は、そのチームを大会より除名し、次回大会の参加も認めない。なお、この場合は、事態発見の時の相手チームの勝者とし、それ以前のものには触れない。  
(2) その他スポーツマンシップに反する行為があった場合は前項に準ずる。

10 表 彰 上位4チームを表彰する。

11 参加手続 参加チームは6月12日(金)の17:00までに大会事務局に「チーム・選手登録用紙」を提出すること。提出後、負傷その他の事由により選手を変更する場合は、6月13日(土)の9:00までに大会事務局に「チーム・選手登録用紙」を改めて提出すること。

12 健康管理 大会参加に当たっては、あらかじめ健康診断を受けさせる等、選手の健康管理に十分留意すること。

大会事務局

茨城県高等学校体育連盟ラグビーフットボール専門部 委員長 小園井 裕一

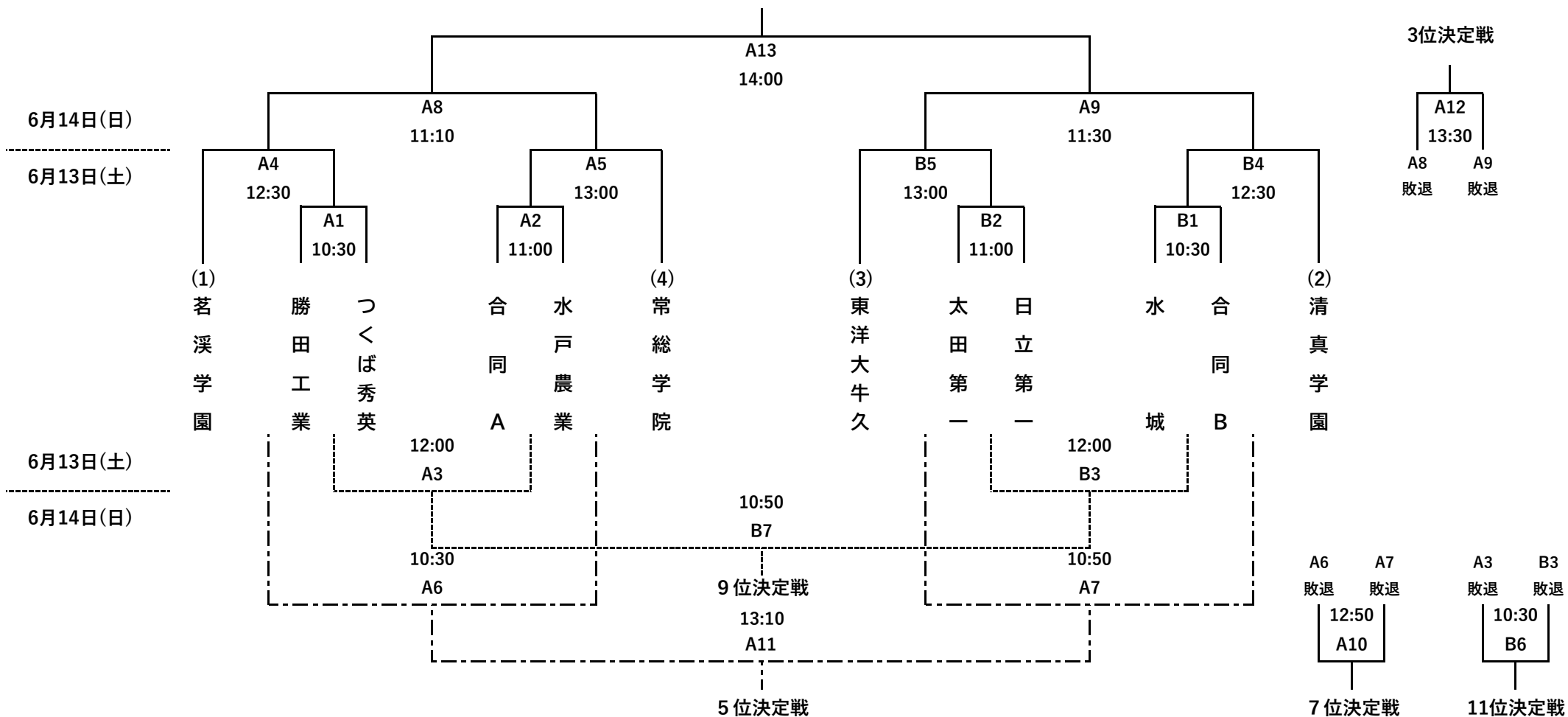
〒313-0005 茨城県常陸太田市栄町58番地 太田第一高等学校内

TEL : 0294-72-2115 FAX : 0294-72-2119 E-mail : osonoi.hirokazu@mail.ibk.ed.jp

「大会参加資格の別途に定める規定」

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校・チームにあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員または指導者の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項に準じて、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員または指導者が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

# 令和8年度県民総合体育大会兼第13回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会茨城県予選会



A：水戸市立サッカー・ラグビー場天然芝グラウンド

B：水戸市立サッカー・ラグビー場人工芝グラウンド

合同A：磯原郷英・勝田中等・水戸第一

合同B：土浦工業・取手第一・東風・下館第二・下妻第一・守谷